

第3節 発展を支える交通ネットワークの充実

1 広域道路ネットワークの構築

東九州自動車道・宇佐別府道路・大分空港道路

- ・東九州自動車道・宇佐別府道路については、暫定2車線区間の4車線化に向け取組を推進します。
- ・大分空港道路については、4車線区間の延伸を進めます。平成28年度から日出IC～安岐IC間の一部区間を事業着手しました。
- ・霧対策について国などの関係機関にITS技術の活用等を働きかけるとともに、通行止め時の迂回路の対策を検討します

中九州横断道路

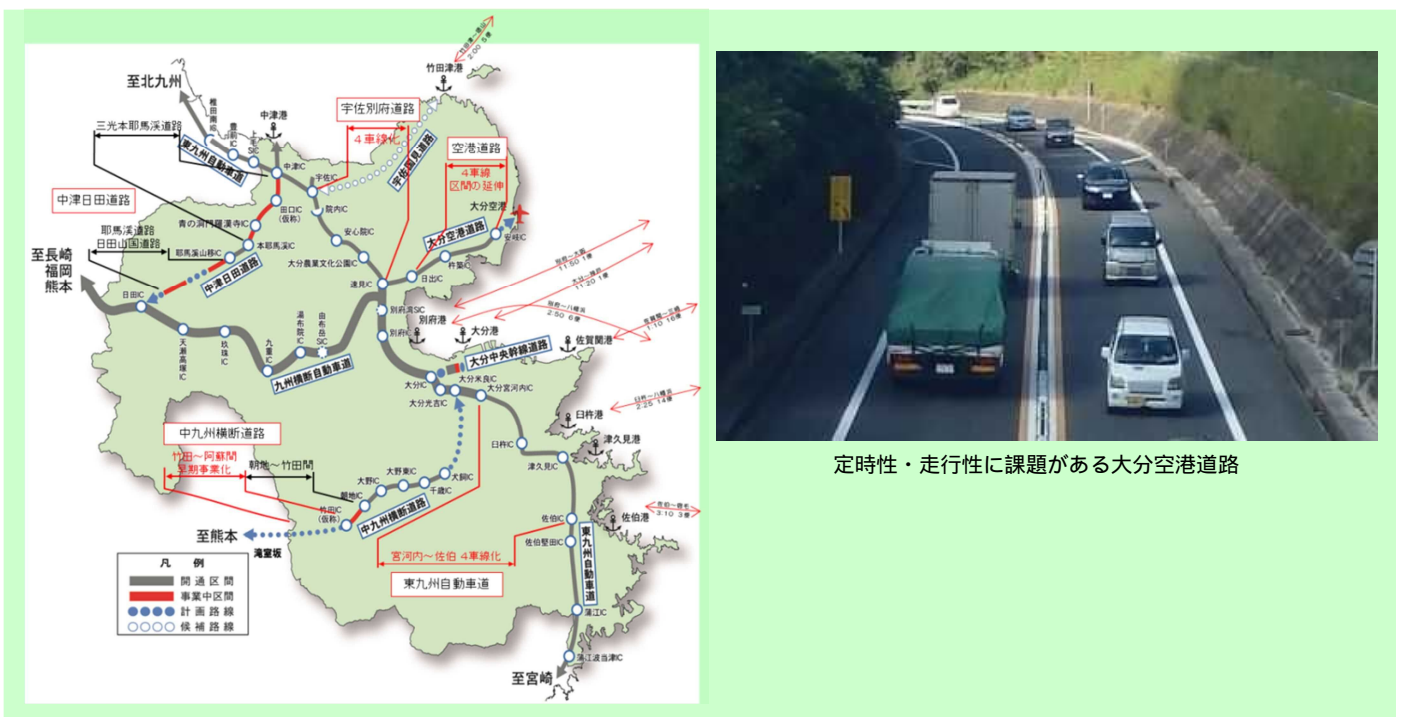
- ・「朝地～竹田」間は、平成30年度の開通目標に向けて、整備が進められています。
- ・「竹田～阿蘇」間は、計画段階評価を進めるための調査が進められています。

中津日田道路

- ・現在約26kmの区間（三光本耶馬溪道路（直轄権限代行） 耶馬溪道路、日田山国道路）で整備を推進しています。

スマートIC

- ・由布岳スマートIC及び別府湾スマートIC（上り線）の整備により、利便性向上を推進します。平成28年度に由布岳スマートICが完成する予定です。



2 地域道路ネットワークの充実

地域ネットワークの整備

- ・幹線道路は、渋滞や交通安全上の課題の多い箇所、インターチェンジへのアクセス道路等の整備を進め、物流効率化や産業の発展、生活利便性の向上に寄与します。また、合併新市中心と旧市町村中心を結ぶ道路等で未改良で残された区間や港湾とインターチェンジを結ぶ道路等の整備を進めます。平成28年度からは、新たに国道387号川底工区、成仏杵築線大内工区などに事業着手しました。
- ・異常気象時等においても地域間のネットワークを確保するため啓開ルート上ののり面崩壊対策を平成28年度は12路線13箇所を実施しています。



《現在の状況》国道387号川底工区（玖珠町）

玖珠町、九重町の観光地へのアクセスが向上し、交流人口の増加を図ります。



《現在の状況》成仏杵築線大内工区（杵築市）

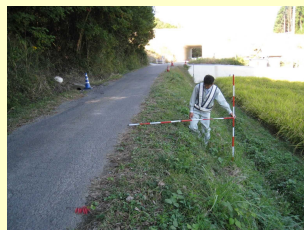
周辺住民の生活道路の利便性向上や緊急避難場所へのアクセス強化を図ります。

中山間地域等の生活道路

- ・既設の道路敷を利用した路肩改良や側溝整備等の局所改善を平成28年度は県道四浦日代線外約10箇所実施します。
- ・災害時の通行止めにより、集落の孤立が発生する可能性のある道路について、道路のり法面対策を推進します。平成28年度は県道梶寄浦佐伯線等で実施しています。

《路肩改良 実施事例》

県道 山袋久々姥線（宇佐市大字木内）



《道路のり法面((落石)対策 実施事例》

県道 梶寄浦佐伯線（佐伯市鶴見大字丹賀浦）



3 海上輸送拠点の強化

港湾機能の強化

近年、砂・砂利を取り扱う船舶が大型化しており、既存公共埠頭の利用に際しては、水深不足のため喫水調整を行い入港しています。今後の船舶の大型化による貨物輸送の効率化、地域産業の活性化に繋がる新たな埠頭の整備を実施しています。

現在、港内にフェリー、造船所、魚市場が混在し、大型船入港時は小型船の航行が危険な状態となっています。

フェリーの大型化や船舶の安全な航行を確保するため、新フェリーターミナルの整備を実施しています。



幹線道路と交通アクセスの向上

物流の効率化と共に港周辺の渋滞緩和、安全性の向上、沿道環境の改善に寄与するため臨港道路の整備を推進しています。

